



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 高田鉄也

編集責任者 高田鉄也

金子健史

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

報告

涉外法制部

臨床検査技師法に規定されていない法定外業務の実態調査

I 調査事項

- 1 調査対象施設についての基礎調査（臨床検査の適正評価に係る調査と共通）
- 2 検体検査及び生理検査等に係る状況調査
- 3 その他の医行為及び医療行為に係る状況調査

II 調査の目的と調査方法

日臨技における臨床検査ガイドラインの策定への取組みに際し、その原案の作成を諮問された技師制度対策委員会において、検査及び関連分野における医行為及び医療行為の洗い出しと実態調査を行うために「法定外業務に係る調査」をアンケート形式で実施することとした。結果はガイドライン策定への基礎的な資料とした。なお、ここでの報告は<概略>にとどめ、詳細については、日臨技ホームページ<会員ページ>にて公開する予定である。

1 調査方法

1) 調査形式

郵送によるアンケート形式で実施した。なお、検査（項目）ごとに共通の下記設問（A・B）を設定した。

設問 A. 下記の各調査項目について、施設の状況をお聞きます。

1. 施設で実施していない
2. 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない
3. 医師の指導下で臨床検査技師が実施している
4. 臨床検査技師のみで実施している

設問 B. 下記の各調査項目について、この行為は臨床検査技師がすべき行為かどうかお考えをお聞かせください。

1. 臨床検査技師の業務に入れるべき
2. 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき
3. 臨床検査技師の業務にすべきでない
4. わからない

2) 調査対象施設

日臨技会員施設（7890 施設）中から層化二段無作為抽出法により選別した 2037 施設を調査対象施設とした。

3) 調査期間

アンケートは平成 22 年 9 月初旬に調査対象施設に発送し、回答の返送期限を平成 22 年 9 月末日とした。

2 回答数と集計方法

1) 回答施設数と回収率

回答施設数は 903 施設で、回収率は 44.3%であった。

2) 集計方法

集計は、単純集計を行った。

III 調査結果の概要（臨床検査の適正評価に係る調査と共通）

1 調査対象施設についての基礎調査とその結果

調査結果を集計及び評価する上で必要となる調査対象施設における基本情報の収集を基礎調査として実施した。

1) 回答施設の概要

① 経営主体

経営主体としては、「医療法人」が 41.9%と最も多く、次いで「公立機関（都道府県・市町村・地方独立行政法人）」が 21.4%、「公的医療機関（日赤・済生会・厚生連等）」が 7.6%となっている。

② 許可病床数

規模では、「100～199 床」が 31.3%と最も多く、次いで「100 床未満」が 25.0%となっており、200 床未満で過半数を占めている。一方、「400 床以上」の施設も 18.4%と比較的多い。

③ 一日当たりの平均外来患者数

「400 人以上」が 33.6%と最も多く、次いで「100～199 人」が 22.9%、「100 人未満」が 19.9%となっている。

④ 主たる病床区分

「一般病床」は 92.6%と殆どの施設が有している。また「療養病床」は 35.9%と 1/3 以上の施設で有している。

⑤ 標榜する科目数

「11～20 科」が 28.2%と最も多く、次いで「6～10 科」が 25.7%、「3～5 科」が 19.2%となっている。

⑥ 救急体制

「二次救急」が 49.2%とほぼ半数を占め、「指定なし」が 24.0%、「一次救急」が 13.0%である。

2) 臨床検査科の概要

① 臨床検査科の標榜

臨床検査科を「標榜している」施設は 16.3%となっており、臨床検査科を「標榜していない」施設は 72.5%である。

② 生理機能検査を除く臨床検査部門の運営形態

「自主運営」が 78.0%と大半を占めており、「FMS+一部自主運営」(7.8%)、「ランチ+一部自主運営」(5.6%)を併せると、9割以上の施設では部分的にせよ自主運営をしている。

③ 全臨床検査技師数

「4~9名」が 29.2%と最も多く、次いで「2~3名」が 24.4%、「10~19名」が 20.3%となっている。また、生理検査担当技師数は、「1~3名」が 29.9%と最も多く、次いで「1名未満(兼務)」が 24.1%、「4~6名」が 23.5%となっており、6名以下の施設が 3/4以上を占める。

④ 100床当たりの臨床検査技師数

「1~3名」が 44.0%と最も多く、次いで「4~6名」が 36.2%、「7~9名」が 11.4%となっている。

2 検体検査及び生理検査等の状況について

検体検査及び生理検査等におけるボーダーライン業務の洗い出しと実施状況の調査を実施した。

1) 検体検査の状況

① 血液学的検査

血液学的検査の遺伝子検査の実施、染色体検査の実施については、「施設で実施していない」が 9割以上となっているが、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が 4割強、「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が 3割強であり、併せて 3/4以上の施設で臨床検査技師がすべき行為と考えている。

| | | 1) 血液学的検査 | | | | | 無回答 |
|------------|----|-----------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 遺伝子検査の実施 | 件数 | 897 | 832 | 6 | 20 | 25 | 14 |
| | 比率 | 100.0% | 92.8% | 0.7% | 2.2% | 2.8% | 1.6% |
| ② 染色体検査の実施 | 件数 | 897 | 859 | 6 | 9 | 5 | 18 |
| | 比率 | 100.0% | 95.8% | 0.7% | 1.0% | 0.6% | 2.0% |

| | | 1) 血液学的検査 | | | | | 無回答 |
|------------|----|-----------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | |
| ① 遺伝子検査の実施 | 件数 | 897 | 413 | 287 | 8 | 154 | 35 |
| | 比率 | 100.0% | 46.0% | 32.0% | 0.9% | 17.2% | 3.9% |
| ② 染色体検査の実施 | 件数 | 897 | 396 | 297 | 11 | 153 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 44.1% | 33.1% | 1.2% | 17.1% | 4.5% |

② 微生物検査

微生物学的検査における技師による検査項目の追加(同定・感受性実施薬剤の追加・染色等の追加)は、「施設で実施していない」が 58.9%と最も多いが、「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」が 20.1%、「臨床検査技師のみで実施している」が 15.3%となっており、実施している場合は臨床検査技師が行っていることが多い。また、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が 57.2%、「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が 29.7%であり、併せて 8割以上の施設で臨床検査技師がすべき行為と考えている。

| | | 2) 微生物学的検査 | | | | | 無回答 |
|----------------|----|------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 技師による検査項目の追加 | 件数 | 897 | 528 | 15 | 180 | 137 | 37 |
| | 比率 | 100.0% | 58.9% | 1.7% | 20.1% | 15.3% | 4.1% |

| | | 2) 微生物学的検査 | | | | | 無回答 |
|----------------|----|------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | |
| ① 技師による検査項目の追加 | 件数 | 897 | 513 | 266 | 18 | 51 | 49 |
| | 比率 | 100.0% | 57.2% | 29.7% | 2.0% | 5.7% | 5.5% |

2) 生理検査の状況

① 呼吸循環機能検査

「電気生理検査におけるペーシングの設定変更」、「心臓ペースメーカーの設定変更」については、「施設で実施していない」が半数以上を占め、実施している場合でも「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」との回答が多く、現状では臨床検査技師が実施していないのが実情である。

「トレッドミルやサイクルエルゴメーターでの負荷心電図の実施」については、「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」が 46.9%と半数近くであるが、「施設で実施していない」も 41.7%となっている。

「運動や薬剤による負荷超音波検査の実施」、「呼吸器リハビリの一環としての 6 分間テスト (6MWT)の実施」、「喘息運動負荷検査の実施」、「心磁図・脳磁図検査の実施」については、「施設で実施していない」が大部分を占めている。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「心臓ペースメーカーの設定変更」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が 38.2%と最も多く、次いで「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が 31.5%となっており、「臨床検査技師の業務に入れるべき」は 5.4%と少ない。

「電気生理検査におけるペーシングの設定変更」、「運動や薬剤による負荷超音波検査の実施」、「呼吸器リハビリの一環としての 6 分間テスト (6MWT)の実施」、「喘息運動負荷検査の実施」は、「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が最も多くなっているが、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が「臨床検査技師の業務に入れるべき」を上回っている。

一方、「トレッドミルやサイクルエルゴメーターでの負荷心電図の実施」、「心磁図・脳磁図検査の実施」は、やはり「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が最も多くなっているが、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が「臨床検査技師の業務にすべきでない」を上回っている。

| | | 1) 呼吸循環機能検査 | | | | | 無回答 |
|--------------------------------|----|-------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|-------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 電気生理検査におけるペーシングの設定変更 | 件数 | 897 | 574 | 238 | 60 | 6 | 19 |
| | 比率 | 100.0% | 64.0% | 26.5% | 6.7% | 0.7% | 2.1% |
| ② 心臓ペースメーカーの設定変更 | 件数 | 897 | 508 | 325 | 46 | 3 | 15 |
| | 比率 | 100.0% | 56.6% | 36.2% | 5.1% | 0.3% | 1.7% |
| ③ トレッドミルやサイクルエルゴメーターでの負荷心電図の実施 | 件数 | 897 | 374 | 54 | 421 | 35 | 13 |
| | 比率 | 100.0% | 41.7% | 6.0% | 46.9% | 3.9% | 1.4% |
| ④ 運動や薬剤による負荷超音波検査の実施 | 件数 | 897 | 690 | 66 | 121 | 2 | 18 |
| | 比率 | 100.0% | 76.9% | 7.4% | 13.5% | 0.2% | 2.0% |
| ⑤ 呼吸器リハビリの一環としての | 件数 | 897 | 767 | 76 | 12 | 9 | 33 |
| | 比率 | 100.0% | 85.5% | 8.5% | 1.3% | 1.0% | 3.7% |
| ⑥ 喘息運動負荷検査の実施 | 件数 | 897 | 821 | 27 | 25 | 4 | 20 |
| | 比率 | 100.0% | 91.5% | 3.0% | 2.8% | 0.4% | 2.2% |
| ⑦ 心磁図・脳磁図検査の実施 | 件数 | 897 | 847 | 11 | 5 | 11 | 23 |
| | 比率 | 100.0% | 94.4% | 1.2% | 0.6% | 1.2% | 2.6% |
| ⑧ ボディープレシスモグラフの実施 | 件数 | 897 | 137 | 1 | - | 3 | 756 |
| | 比率 | 100.0% | 15.3% | 0.1% | - | 0.3% | 84.3% |

| | | 1) 呼吸循環機能検査 | | | | | 無回答 |
|--------------------------------|----|-------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|-------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | |
| ① 電気生理検査におけるペーシングの設定変更 | 件数 | 897 | 79 | 314 | 250 | 219 | 35 |
| | 比率 | 100.0% | 8.8% | 35.0% | 27.9% | 24.4% | 3.9% |
| ② 心臓ペースメーカーの設定変更 | 件数 | 897 | 48 | 283 | 343 | 190 | 33 |
| | 比率 | 100.0% | 5.4% | 31.5% | 38.2% | 21.2% | 3.7% |
| ③ トレッドミルやサイクルエルゴメーターでの負荷心電図の実施 | 件数 | 897 | 140 | 606 | 47 | 71 | 33 |
| | 比率 | 100.0% | 15.6% | 67.6% | 5.2% | 7.9% | 3.7% |
| ④ 運動や薬剤による負荷超音波検査の実施 | 件数 | 897 | 56 | 547 | 107 | 150 | 37 |
| | 比率 | 100.0% | 6.2% | 61.0% | 11.9% | 16.7% | 4.1% |
| ⑤ 呼吸器リハビリの一環としての | 件数 | 897 | 94 | 272 | 117 | 368 | 46 |
| | 比率 | 100.0% | 10.5% | 30.3% | 13.0% | 41.0% | 5.1% |
| ⑥ 喘息運動負荷検査の実施 | 件数 | 897 | 77 | 350 | 120 | 309 | 41 |
| | 比率 | 100.0% | 8.6% | 39.0% | 13.4% | 34.4% | 4.6% |
| ⑦ 心磁図・脳磁図検査の実施 | 件数 | 897 | 165 | 224 | 56 | 402 | 50 |
| | 比率 | 100.0% | 18.4% | 25.0% | 6.2% | 44.8% | 5.6% |
| ⑧ ボディープレシスモグラフの実施 | 件数 | 897 | 41 | 32 | 4 | 60 | 760 |
| | 比率 | 100.0% | 4.6% | 3.6% | 0.4% | 6.7% | 84.7% |

② 超音波検査等

超音波検査等の実施状況を見ると、「経口腔的頸部動脈超音波検査におけるプローブの挿入と検査」、「舌根部の腫瘍の超音波検査（口腔内へのプローブの挿入）」、「眼動脈超音波検査の実施」、「経頭蓋超音波検査（トランスクリニアム[®] プレー）の実施」、「サーモグラフィでの病変部位（静脈瘤等）のマーキング」は、「施設で実施していない」が 8 割以上を占め、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」も併せると 9 割以上の施設では臨床検査技師が実施していない。

また、「術中超音波検査（直接臓器にプローブをあてる行為）」、「経食道超音波検査におけるプローブの挿入と検査」、「経腔超音波検査におけるプローブの挿入と検査」、「経直腸の前立腺超音波検査におけるプローブの挿入と検査」も、「施設で実施していない」が 6 割以上を占め、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」3 割以上で、併せると 9 割以上の施設では臨床検査技師が実施していない。

一方、「残尿測定検査（超音波によるもの）の実施」、「骨密度測定検査（超音波によるもの）の実施」、「血管内超音波検査（IVUS）の機器操作」、「乳腺エコーでの病変部位のマーキング」、「下肢静脈エコーでの病変部位（瘤・穿通枝）のマーキング」も、「施設で実施していない」と「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」を併せて 8 割以上の施設では臨床検査技師が実施していない。

いが、臨床検査技師が関与している施設も少なからず存在する。

「超音波検査等の生理機能検査の所見記載」については、「臨床検査技師のみで実施している」が 33.1%と最も多く、次いで「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」が 29.4%となっており、6 割以上の施設で臨床検査技師が関与している。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「術中超音波検査（直接臓器にプローブをあてる行為）」「経食道超音波検査におけるプローブの挿入と検査」「経膈超音波検査におけるプローブの挿入と検査」「経直腸的前立腺超音波検査におけるプローブの挿入と検査」「経口膈的頸部動脈超音波検査におけるプローブの挿入と検査」「舌根部の腫瘍の超音波検査（口膈内へのプローブの挿入）」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」との回答が最も多く、次いで「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が多くなっている。反対に「臨床検査技師の業務に入れるべき」との回答は 1 割に満たない。

また、「眼動脈超音波検査の実施」「経頭蓋超音波検査（トランスクラニアルドプラー）の実施」「血管内超音波検査（IVUS）の機器操作」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が「臨床検査技師の業務に入れるべき」を上回っているものの施設によって回答が分かれており、「わからない」との回答も比較的多くなっている。

一方、「残尿測定検査（超音波によるもの）の実施」「骨密度測定検査（超音波によるもの）の実施」「超音波検査等の生理機能検査の所見記載」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が 4 割以上で、「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」を併せると 6 割ないし 8 割の施設で臨床検査技師が行うことに肯定的である。反対に「臨床検査技師の業務にすべきでない」との回答は 1 割に満たない。

「乳腺エコーでの病変部位のマーキング」「下肢静脈エコーでの病変部位（瘤・穿通枝）のマーキング」「サーモグラフでの病変部位（静脈瘤等）のマーキング」は、「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が最も多いが、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が「臨床検査技師の業務にすべきでない」を上回っているものの施設により回答が分かれている。

| | | 2) 超音波検査等 | | | | | 無回答 |
|---------------------------------------|----|-----------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 術中超音波検査 | 件数 | 897 | 556 | 283 | 34 | - | 24 |
| | 比率 | 100.0% | 62.0% | 31.5% | 3.8% | - | 2.7% |
| ② 経食道超音波検査における | 件数 | 897 | 558 | 277 | 37 | - | 25 |
| | 比率 | 100.0% | 62.2% | 30.9% | 4.1% | - | 2.8% |
| ③ 経膈超音波検査における プローブの挿入と検査 | 件数 | 897 | 585 | 286 | 1 | - | 25 |
| | 比率 | 100.0% | 65.2% | 31.9% | 0.1% | - | 2.8% |
| ④ 経直腸的前立腺超音波 検査 | 件数 | 897 | 595 | 269 | 6 | 1 | 26 |
| | 比率 | 100.0% | 66.3% | 30.0% | 0.7% | 0.1% | 2.9% |
| ⑤ 経口膈的頸部動脈超音 波検査におけるプローブの挿入と 検査 | 件数 | 897 | 786 | 82 | 2 | 1 | 26 |
| | 比率 | 100.0% | 87.6% | 9.1% | 0.2% | 0.1% | 2.9% |
| ⑥ 舌根部の腫瘍の超音波検査 | 件数 | 897 | 794 | 65 | 4 | 2 | 32 |
| | 比率 | 100.0% | 88.5% | 7.2% | 0.4% | 0.2% | 3.6% |
| ⑦ 眼動脈超音波検査の実 施 | 件数 | 897 | 797 | 61 | 3 | 5 | 31 |
| | 比率 | 100.0% | 88.9% | 6.8% | 0.3% | 0.6% | 3.5% |
| ⑧ 経頭蓋超音波検査の実 施 | 件数 | 897 | 764 | 64 | 19 | 23 | 27 |
| | 比率 | 100.0% | 85.2% | 7.1% | 2.1% | 2.6% | 3.0% |
| ⑨ 残尿測定検査の実施 | 件数 | 897 | 505 | 222 | 46 | 91 | 33 |
| | 比率 | 100.0% | 56.3% | 24.7% | 5.1% | 10.1% | 3.7% |
| ⑩ 骨密度測定検査の実施 | 件数 | 897 | 635 | 159 | 12 | 67 | 24 |
| | 比率 | 100.0% | 70.8% | 17.7% | 1.3% | 7.5% | 2.7% |
| ⑪ 血管内超音波検査 の機器操作 | 件数 | 897 | 625 | 182 | 58 | 11 | 21 |
| | 比率 | 100.0% | 69.7% | 20.3% | 6.5% | 1.2% | 2.3% |
| ⑫ 乳腺エコーでの病変部位 のマーキング | 件数 | 897 | 492 | 278 | 72 | 26 | 29 |
| | 比率 | 100.0% | 54.8% | 31.0% | 8.0% | 2.9% | 3.2% |
| ⑬ 下肢静脈エコーでの 病変部位のマーキング | 件数 | 897 | 557 | 185 | 83 | 47 | 25 |
| | 比率 | 100.0% | 62.1% | 20.6% | 9.3% | 5.2% | 2.8% |
| ⑭ サーモグラフでの 病変部位のマーキング | 件数 | 897 | 796 | 58 | 8 | 6 | 29 |
| | 比率 | 100.0% | 88.7% | 6.5% | 0.9% | 0.7% | 3.2% |
| ⑮ 超音波検査等の 生理機能検査の所見記 | 件数 | 897 | 202 | 95 | 264 | 297 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 22.5% | 10.6% | 29.4% | 33.1% | 4.3% |

| | | 2) 超音波検査等 | | | | | |
|-----------------------------|----|-----------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 術中超音波検査 | 件数 | 897 | 56 | 255 | 347 | 199 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 6.2% | 28.4% | 38.7% | 22.2% | 4.5% |
| ② 経食道超音波検査における | 件数 | 897 | 36 | 203 | 444 | 175 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 4.0% | 22.6% | 49.5% | 19.5% | 4.3% |
| ③ 経膈超音波検査におけるプローブの挿入と検査 | 件数 | 897 | 53 | 157 | 430 | 218 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 5.9% | 17.5% | 47.9% | 24.3% | 4.3% |
| ④ 経直腸的前立腺超音波検査 | 件数 | 897 | 49 | 164 | 432 | 215 | 37 |
| | 比率 | 100.0% | 5.5% | 18.3% | 48.2% | 24.0% | 4.1% |
| ⑤ 経口膈の頸部動脈超音波検査におけるプローブの挿入と | 件数 | 897 | 42 | 162 | 405 | 248 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 4.7% | 18.1% | 45.2% | 27.6% | 4.5% |
| ⑥ 舌根部の腫瘍の超音波検査 | 件数 | 897 | 65 | 194 | 337 | 261 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 7.2% | 21.6% | 37.6% | 29.1% | 4.5% |
| ⑦ 眼動脈超音波検査の実施 | 件数 | 897 | 94 | 197 | 241 | 324 | 41 |
| | 比率 | 100.0% | 10.5% | 22.0% | 26.9% | 36.1% | 4.6% |
| ⑧ 経頭蓋超音波検査の実施 | 件数 | 897 | 139 | 201 | 207 | 310 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 15.5% | 22.4% | 23.1% | 34.6% | 4.5% |
| ⑨ 残尿測定検査の実施 | 件数 | 897 | 372 | 211 | 87 | 179 | 48 |
| | 比率 | 100.0% | 41.5% | 23.5% | 9.7% | 20.0% | 5.4% |
| ⑩ 骨密度測定検査の実施 | 件数 | 897 | 471 | 158 | 60 | 160 | 48 |
| | 比率 | 100.0% | 52.5% | 17.6% | 6.7% | 17.8% | 5.4% |
| ⑪ 血管内超音波検査の機器操作 | 件数 | 897 | 144 | 265 | 209 | 232 | 47 |
| | 比率 | 100.0% | 16.1% | 29.5% | 23.3% | 25.9% | 5.2% |
| ⑫ 乳腺エコーでの病変部位のマーキング | 件数 | 897 | 205 | 315 | 144 | 187 | 46 |
| | 比率 | 100.0% | 22.9% | 35.1% | 16.1% | 20.8% | 5.1% |
| ⑬ 下肢静脈エコーでの病変部位のマーキング | 件数 | 897 | 227 | 307 | 121 | 195 | 47 |
| | 比率 | 100.0% | 25.3% | 34.2% | 13.5% | 21.7% | 5.2% |
| ⑭ サーモグラフでの病変部位のマーキング | 件数 | 897 | 199 | 256 | 120 | 273 | 49 |
| | 比率 | 100.0% | 22.2% | 28.5% | 13.4% | 30.4% | 5.5% |
| ⑮ 超音波検査等の生理機能検査の所見記 | 件数 | 897 | 439 | 287 | 48 | 87 | 36 |
| | 比率 | 100.0% | 48.9% | 32.0% | 5.4% | 9.7% | 4.0% |

③ 監視装置による諸検査

監視装置による諸検査の実施状況を見ると、いずれも「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が最も多く、次いで「施設で実施していない」となっており大部分の施設では臨床検査技師が行っていない。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が最も多く、「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」と併せると過半数となり、何らかの形で臨床検査技師が行うことに肯定的な回答が多い。

| | | 3) 監視装置による諸検査 | | | | | |
|------------------------|----|---------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 長時間血圧および心拍数測定装置の装着作業 | 件数 | 897 | 324 | 355 | 73 | 121 | 24 |
| | 比率 | 100.0% | 36.1% | 39.6% | 8.1% | 13.5% | 2.7% |
| ② パルスオキシメーターによるSpO2の測定 | 件数 | 897 | 259 | 476 | 63 | 72 | 27 |
| | 比率 | 100.0% | 28.9% | 53.1% | 7.0% | 8.0% | 3.0% |
| ③ 心拍モニター装置の装着作業 | 件数 | 897 | 267 | 542 | 33 | 31 | 24 |
| | 比率 | 100.0% | 29.8% | 60.4% | 3.7% | 3.5% | 2.7% |

| | | 3) 監視装置による諸検査 | | | | | |
|------------------------|----|---------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 長時間血圧および心拍数測定装置の装着作業 | 件数 | 897 | 390 | 154 | 129 | 178 | 46 |
| | 比率 | 100.0% | 43.5% | 17.2% | 14.4% | 19.8% | 5.1% |
| ② パルスオキシメーターによるSpO2の測定 | 件数 | 897 | 356 | 141 | 141 | 213 | 46 |
| | 比率 | 100.0% | 39.7% | 15.7% | 15.7% | 23.7% | 5.1% |
| ③ 心拍モニター装置の装着作業 | 件数 | 897 | 326 | 135 | 171 | 219 | 46 |
| | 比率 | 100.0% | 36.3% | 15.1% | 19.1% | 24.4% | 5.1% |

④ 脳波検査

「脳判定時における無呼吸テストの実施」は、「施設で実施していない」が 86.2%となっており、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」の 8.9%を併せると、95%強の施設で臨床検査技師が行っていない。

一方、臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が 33.3%と最も多いが、次いで「臨床検査技師の業務にすべきでない」の 20.8%となっている。

| | | 4) 脳波検査 | | | | | |
|----------------------|----|---------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 脳死判定時における無呼吸テストの実施 | 件数 | 897 | 773 | 80 | 19 | 3 | 22 |
| | 比率 | 100.0% | 86.2% | 8.9% | 2.1% | 0.3% | 2.5% |

| | | 4) 脳波検査 | | | | | |
|----------------------|----|---------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 脳死判定時における無呼吸テストの実施 | 件数 | 897 | 95 | 299 | 187 | 276 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 10.6% | 33.3% | 20.8% | 30.8% | 4.5% |

⑤ 神経・筋検査

神経・筋検査の実施状況を見ると、「電流知覚閾値検査の実施」、「尿流量測定検査（ウロフロメトリー）の実施」のいずれも「施設で実施していない」が大半を占め、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」を併せると、8割以上の施設で臨床検査技師が行っていない。

一方、臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「わからない」との回答が4割前後で最も多いが、次いで「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が2割前後となっている。

また、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が「臨床検査技師の業務にすべきでない」を上回っているものの施設により回答が分かれている。

| | | 5) 神経・筋検査 | | | | | |
|---------------|----|-----------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 電流知覚閾値検査の実施 | 件数 | 897 | 737 | 63 | 28 | 36 | 33 |
| | 比率 | 100.0% | 82.2% | 7.0% | 3.1% | 4.0% | 3.7% |
| ② 尿流量測定検査の実施 | 件数 | 897 | 663 | 170 | 9 | 17 | 38 |
| | 比率 | 100.0% | 73.9% | 19.0% | 1.0% | 1.9% | 4.2% |

| | | 5) 神経・筋検査 | | | | | |
|---------------|----|-----------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 電流知覚閾値検査の実施 | 件数 | 897 | 181 | 206 | 93 | 355 | 62 |
| | 比率 | 100.0% | 20.2% | 23.0% | 10.4% | 39.6% | 6.9% |
| ② 尿流量測定検査の実施 | 件数 | 897 | 166 | 173 | 102 | 392 | 64 |
| | 比率 | 100.0% | 18.5% | 19.3% | 11.4% | 43.7% | 7.1% |

⑥ 耳鼻咽喉科学的検査

耳鼻咽喉科学的検査の実施状況を見ると、「聴力検査（標準純音聴力検査・骨導検査以外）の実施」は、「施設で実施していない」が38.7%と最も多いが、次いで「臨床検査技師のみで実施している」が28.2%となっており、実施している施設では臨床検査技師の関与が比較的大きい。

また、「チンパノメトリーの実施」、「語音聴力検査の実施」は、「施設で実施していない」が6割以上となっているが、「臨床検査技師のみで実施している」も1割を超えており、実施している施設では臨床検査技師の関与が少なくない。

なお、「味覚検査の実施」、「嗅覚検査の実施」、「耳鼻機能検査の実施」、「鼻腔通気検査の実施」、「音声機能検査の実施」、「音響分析の実施」、「平衡機能検査（重心動揺検査以外）の実施」は、臨床検査技師の関与は少ない。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「聴力検査（標準純音聴力検査・骨導検査以外）の実施」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が52.5%と過半数となっており、臨床検査技師が行うことに肯定的な意見が多い。

そのほかの「チンパノメトリーの実施」、「語音聴力検査の実施」、「味覚検査の実施」、「嗅覚検査の実施」、「耳鼻機能検査の実施」、「鼻腔通気検査の実施」、「音声機能検査の実施」、「音響分析の実施」、「平衡機能検査（重心動揺検査以外）の実施」は、「わからない」との回答が最も多いが、次いで「臨床検査技師の業務に入れるべき」がおおくなっている。

| | | 6) 耳鼻咽喉科学的検査 | | | | | |
|---------------|----|--------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 聴力検査の実施 | 件数 | 897 | 347 | 166 | 103 | 253 | 28 |
| | 比率 | 100.0% | 38.7% | 18.5% | 11.5% | 28.2% | 3.1% |
| ② チンパノメトリーの実施 | 件数 | 897 | 542 | 118 | 51 | 148 | 38 |
| | 比率 | 100.0% | 60.4% | 13.2% | 5.7% | 16.5% | 4.2% |
| ③ 語音聴力検査の実施 | 件数 | 897 | 578 | 120 | 48 | 117 | 34 |
| | 比率 | 100.0% | 64.4% | 13.4% | 5.4% | 13.0% | 3.8% |
| ④ 味覚検査の実施 | 件数 | 897 | 690 | 141 | 7 | 20 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 76.9% | 15.7% | 0.8% | 2.2% | 4.3% |
| ⑤ 嗅覚検査の実施 | 件数 | 897 | 685 | 154 | 5 | 14 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 76.4% | 17.2% | 0.6% | 1.6% | 4.3% |
| ⑥ 耳鼻機能検査の実施 | 件数 | 897 | 662 | 158 | 12 | 17 | 48 |
| | 比率 | 100.0% | 73.8% | 17.6% | 1.3% | 1.9% | 5.4% |
| ⑦ 鼻腔通気検査の実施 | 件数 | 897 | 649 | 163 | 10 | 30 | 45 |
| | 比率 | 100.0% | 72.4% | 18.2% | 1.1% | 3.3% | 5.0% |
| ⑧ 音声機能検査の実施 | 件数 | 897 | 729 | 111 | 2 | 4 | 51 |
| | 比率 | 100.0% | 81.3% | 12.4% | 0.2% | 0.4% | 5.7% |
| ⑨ 音響分析の実施 | 件数 | 897 | 761 | 76 | 3 | 7 | 50 |
| | 比率 | 100.0% | 84.8% | 8.5% | 0.3% | 0.8% | 5.6% |
| ⑩ 平衡機能検査の実施 | 件数 | 897 | 615 | 131 | 51 | 60 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 68.6% | 14.6% | 5.7% | 6.7% | 4.5% |

| | | 6) 耳鼻咽喉科学的検査 | | | | | |
|---------------|----|--------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 聴力検査の実施 | 件数 | 897 | 471 | 150 | 52 | 172 | 52 |
| | 比率 | 100.0% | 52.5% | 16.7% | 5.8% | 19.2% | 5.8% |
| ② チンパノメトリーの実施 | 件数 | 897 | 321 | 126 | 64 | 324 | 62 |
| | 比率 | 100.0% | 35.8% | 14.0% | 7.1% | 36.1% | 6.9% |
| ③ 語音聴力検査の実施 | 件数 | 897 | 311 | 128 | 82 | 319 | 57 |
| | 比率 | 100.0% | 34.7% | 14.3% | 9.1% | 35.6% | 6.4% |
| ④ 味覚検査の実施 | 件数 | 897 | 232 | 123 | 103 | 377 | 62 |
| | 比率 | 100.0% | 25.9% | 13.7% | 11.5% | 42.0% | 6.9% |
| ⑤ 嗅覚検査の実施 | 件数 | 897 | 226 | 121 | 105 | 382 | 63 |
| | 比率 | 100.0% | 25.2% | 13.5% | 11.7% | 42.6% | 7.0% |
| ⑥ 耳鼻機能検査の実施 | 件数 | 897 | 179 | 130 | 107 | 413 | 68 |
| | 比率 | 100.0% | 20.0% | 14.5% | 11.9% | 46.0% | 7.6% |
| ⑦ 鼻腔通気検査の実施 | 件数 | 897 | 179 | 123 | 121 | 411 | 63 |
| | 比率 | 100.0% | 20.0% | 13.7% | 13.5% | 45.8% | 7.0% |
| ⑧ 音声機能検査の実施 | 件数 | 897 | 172 | 117 | 107 | 436 | 65 |
| | 比率 | 100.0% | 19.2% | 13.0% | 11.9% | 48.6% | 7.2% |
| ⑨ 音響分析の実施 | 件数 | 897 | 175 | 117 | 108 | 431 | 66 |
| | 比率 | 100.0% | 19.5% | 13.0% | 12.0% | 48.0% | 7.4% |
| ⑩ 平衡機能検査の実施 | 件数 | 897 | 282 | 171 | 73 | 312 | 59 |
| | 比率 | 100.0% | 31.4% | 19.1% | 8.1% | 34.8% | 6.6% |

⑦ 眼科学的検査

眼科学的検査の実施状況をみると、「視力検査の実施」は、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が 54.6%と過半数となっているが、「臨床検査技師のみで実施している」は 11.9%と少なからず臨床検査技師が行っている。

その他の「眼底写真検査（散瞳薬使用）の実施」、「視野検査（ハンフリー検査）の実施」、「眼振電図検査（ENG）（眼球電図・網膜電図）の実施」、「眼圧測定（非接触）の実施」、「その他の眼圧検査の実施」、「血清点眼液の作成」は、「施設で実施していない」が最も多く、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」を併せると 8 割以上の施設で臨床検査技師が行っていない。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「視力検査の実施」、「視野検査（ハンフリー検査）の実施」、「眼振電図検査（ENG）（眼球電図・網膜電図）の実施」、「眼圧測定（非接触）の実施」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」との回答が最も多く、臨床検査技師が行うことに肯定的である。一方、「血清点眼液の作成」は、「わからない」が 43.3%と最も多いが、次いで「臨床検査技師の業務にすべきでない」が 31.9%となっており、臨床検査技師が行うことには後ろ向きである。

「眼底写真検査（散瞳薬使用）の実施」、「その他の眼圧検査の実施」は、施設によって回答が分かれている。

| | | 7) 眼科学的検査 | | | | | |
|---------------|----|-----------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 眼底写真検査の実施 | 件数 | 897 | 435 | 378 | 36 | 16 | 32 |
| | 比率 | 100.0% | 48.5% | 42.1% | 4.0% | 1.8% | 3.6% |
| ② 視力検査の実施 | 件数 | 897 | 217 | 490 | 53 | 107 | 30 |
| | 比率 | 100.0% | 24.2% | 54.6% | 5.9% | 11.9% | 3.3% |
| ③ 視野検査の実施 | 件数 | 897 | 488 | 334 | 18 | 15 | 42 |
| | 比率 | 100.0% | 54.4% | 37.2% | 2.0% | 1.7% | 4.7% |
| ④ 眼振電図検査の実施 | 件数 | 897 | 587 | 201 | 33 | 30 | 46 |
| | 比率 | 100.0% | 65.4% | 22.4% | 3.7% | 3.3% | 5.1% |
| ⑤ 眼圧測定の実施 | 件数 | 897 | 414 | 338 | 43 | 66 | 36 |
| | 比率 | 100.0% | 46.2% | 37.7% | 4.8% | 7.4% | 4.0% |
| ⑥ その他の眼圧検査の実施 | 件数 | 897 | 532 | 309 | 6 | 7 | 43 |
| | 比率 | 100.0% | 59.3% | 34.4% | 0.7% | 0.8% | 4.8% |
| ⑦ 血清点眼液の作成 | 件数 | 897 | 616 | 213 | 21 | 6 | 41 |
| | 比率 | 100.0% | 68.7% | 23.7% | 2.3% | 0.7% | 4.6% |

| | | 7) 眼科学的検査 | | | | | 無回答 |
|---------------|----|-----------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | |
| ① 眼底写真検査の実施 | 件数 | 897 | 234 | 241 | 182 | 185 | 55 |
| | 比率 | 100.0% | 26.1% | 26.9% | 20.3% | 20.6% | 6.1% |
| ② 視力検査の実施 | 件数 | 897 | 377 | 110 | 162 | 194 | 54 |
| | 比率 | 100.0% | 42.0% | 12.3% | 18.1% | 21.6% | 6.0% |
| ③ 視野検査の実施 | 件数 | 897 | 262 | 118 | 159 | 297 | 61 |
| | 比率 | 100.0% | 29.2% | 13.2% | 17.7% | 33.1% | 6.8% |
| ④ 眼振電図検査の実施 | 件数 | 897 | 224 | 156 | 147 | 305 | 65 |
| | 比率 | 100.0% | 25.0% | 17.4% | 16.4% | 34.0% | 7.2% |
| ⑤ 眼圧測定の実施 | 件数 | 897 | 308 | 146 | 148 | 235 | 60 |
| | 比率 | 100.0% | 34.3% | 16.3% | 16.5% | 26.2% | 6.7% |
| ⑥ その他の眼圧検査の実施 | 件数 | 897 | 146 | 125 | 181 | 380 | 65 |
| | 比率 | 100.0% | 16.3% | 13.9% | 20.2% | 42.4% | 7.2% |
| ⑦ 血清点眼液の作成 | 件数 | 897 | 85 | 78 | 286 | 388 | 60 |
| | 比率 | 100.0% | 9.5% | 8.7% | 31.9% | 43.3% | 6.7% |

⑧ 臨床心理・神経心理検査

臨床心理・神経心理検査の実施状況は、「心理検査の実施」、「認知試験の実施」とともに、「施設で実施していない」が過半数であり、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」と併せると、9割以上の施設で臨床検査技師が行っていない。臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、いずれも「臨床検査技師の業務にすべきでない」が1/3強となっている。しかし、「臨床検査技師の業務に入れるべき」も1割以上あり、また、「わからない」も1/3強となっており態度を決めかねている施設も多い。

| | | 8) 臨床心理・神経心理検査 | | | | | 無回答 |
|-----------|----|----------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 心理検査の実施 | 件数 | 897 | 598 | 253 | 5 | 2 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 66.7% | 28.2% | 0.6% | 0.2% | 4.3% |
| ② 認知試験の実施 | 件数 | 897 | 509 | 332 | 11 | 5 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 56.7% | 37.0% | 1.2% | 0.6% | 4.5% |

| | | 8) 臨床心理・神経心理検査 | | | | | 無回答 |
|-----------|----|----------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | |
| ① 心理検査の実施 | 件数 | 897 | 101 | 85 | 320 | 331 | 60 |
| | 比率 | 100.0% | 11.3% | 9.5% | 35.7% | 36.9% | 6.7% |
| ② 認知試験の実施 | 件数 | 897 | 114 | 90 | 318 | 314 | 61 |
| | 比率 | 100.0% | 12.7% | 10.0% | 35.5% | 35.0% | 6.8% |

⑨ 負荷試験等

負荷試験等の実施状況は、「パッチテストにおけるパッチの貼付」、「スクラッチテスト（搔爬試験）の実施」、「気道過敏試験の実施」、「咳テストの実施」とも、「施設で実施していない」が過半数となっており、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」を併せたほぼ9割の施設で臨床検査技師が行っていない。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、いずれも「わからない」が最も多いが、次いで「臨床検査技師の業務にすべきでない

い」が多くなっており、臨床検査技師が行うことに関しては消極的な回答が比較的多い。

| | | 9) 負荷試験等 | | | | | |
|--------------------|----|----------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① パッチテストにおけるパッチの貼付 | 件数 | 897 | 494 | 353 | 2 | 1 | 47 |
| | 比率 | 100.0% | 55.1% | 39.4% | 0.2% | 0.1% | 5.2% |
| ② スクラッチテストの実施 | 件数 | 897 | 612 | 215 | 3 | 1 | 66 |
| | 比率 | 100.0% | 68.2% | 24.0% | 0.3% | 0.1% | 7.4% |
| ③ 気道過敏試験の実施 | 件数 | 897 | 666 | 141 | 22 | 5 | 63 |
| | 比率 | 100.0% | 74.2% | 15.7% | 2.5% | 0.6% | 7.0% |
| ④ 咳テストの実施 | 件数 | 897 | 685 | 141 | 4 | 1 | 66 |
| | 比率 | 100.0% | 76.4% | 15.7% | 0.4% | 0.1% | 7.4% |

| | | 9) 負荷試験等 | | | | | |
|--------------------|----|----------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① パッチテストにおけるパッチの貼付 | 件数 | 897 | 129 | 121 | 256 | 323 | 68 |
| | 比率 | 100.0% | 14.4% | 13.5% | 28.5% | 36.0% | 7.6% |
| ② スクラッチテストの実施 | 件数 | 897 | 79 | 104 | 245 | 392 | 77 |
| | 比率 | 100.0% | 8.8% | 11.6% | 27.3% | 43.7% | 8.6% |
| ③ 気道過敏試験の実施 | 件数 | 897 | 66 | 133 | 238 | 389 | 71 |
| | 比率 | 100.0% | 7.4% | 14.8% | 26.5% | 43.4% | 7.9% |
| ④ 咳テストの実施 | 件数 | 897 | 66 | 109 | 228 | 418 | 76 |
| | 比率 | 100.0% | 7.4% | 12.2% | 25.4% | 46.6% | 8.5% |

⑩ 内視鏡検査

内視鏡検査の実施状況は、「内視鏡検査での薬液等の注入作業」、「内視鏡検査での生検パンチ用ワイヤーの操作」とともに、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が6割強であり、「施設で実施していない」を併せると、9割以上の施設で臨床検査技師が行っていない。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、いずれも「臨床検査技師の業務にすべきでない」が1/3を超えており、臨床検査技師が行うことについては否定的な回答が多い。

| | | 10) 内視鏡検査(気管支鏡・大腸ファイバー等での検査の補助) | | | | | |
|------------------------|----|---------------------------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 内視鏡検査での薬液等の注入作業 | 件数 | 897 | 258 | 571 | 29 | 2 | 37 |
| | 比率 | 100.0% | 28.8% | 63.7% | 3.2% | 0.2% | 4.1% |
| ② 内視鏡検査での生検パンチ用ワイヤーの操作 | 件数 | 897 | 250 | 562 | 44 | 2 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 27.9% | 62.7% | 4.9% | 0.2% | 4.3% |

| | | 10) 内視鏡検査(気管支鏡・大腸ファイバー等での検査の補助) | | | | | |
|------------------------|----|---------------------------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 内視鏡検査での薬液等の注入作業 | 件数 | 897 | 68 | 204 | 329 | 233 | 63 |
| | 比率 | 100.0% | 7.6% | 22.7% | 36.7% | 26.0% | 7.0% |
| ② 内視鏡検査での生検パンチ用ワイヤーの操作 | 件数 | 897 | 70 | 206 | 318 | 239 | 64 |
| | 比率 | 100.0% | 7.8% | 23.0% | 35.5% | 26.6% | 7.1% |

⑪ その他の生体検査

その他の生体検査の実施状況を見ると、「生理検査時の聴診・触診」は、「施設で実施していない」が37.6%、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が34.2%となっており、併せて7割以上の施設で臨床検査技師が行っていない。しかし、「臨床検査技師のみで実施している」が13.6%、「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」が10.7%となっており、臨床検査技師が関与している施設も少なからずある。

その他の「血圧測定(自動血圧計以外)」、「レーザー血流計による皮膚灌流圧の測定」、「神経伝導速度測定時の体温・皮膚温の測定」、「電磁波温熱療法(ハイパーサーミア)の操作、データ管理」は、7割以上の施設で臨床検査技師が行っていない。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「生理検査時の聴診・触診」、「血圧測定(自動血圧計以外)」、「神経伝導速度測定時の体温・皮膚温の測定」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が最も多くなっており、臨床検査技師が行うことに肯定的な意見が多い。

一方、「レーザー血流計による皮膚灌流圧の測定」、「電磁波温熱療法(ハイパーサーミア)の操作、データ管理」は、「わからない」が4割以上と最も多く、また、施設によって回答が分かれている。

| | | 11) その他の生体検査 | | | | | 無回答 |
|-----------------------|----|--------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 生理検査時の聴診・触診 | 件数 | 897 | 337 | 307 | 96 | 122 | 35 |
| | 比率 | 100.0% | 37.6% | 34.2% | 10.7% | 13.6% | 3.9% |
| ② 血圧測定 | 件数 | 897 | 248 | 495 | 58 | 72 | 24 |
| | 比率 | 100.0% | 27.6% | 55.2% | 6.5% | 8.0% | 2.7% |
| ③ レーザー血流計による皮膚灌流圧の測定 | 件数 | 897 | 702 | 100 | 22 | 22 | 51 |
| | 比率 | 100.0% | 78.3% | 11.1% | 2.5% | 2.5% | 5.7% |
| ④ 神経伝導速度測定時の体温・皮膚温の測定 | 件数 | 897 | 651 | 106 | 29 | 67 | 44 |
| | 比率 | 100.0% | 72.6% | 11.8% | 3.2% | 7.5% | 4.9% |
| ⑤ 電磁波温熱療法の操作、データ管理 | 件数 | 897 | 732 | 100 | 3 | 4 | 58 |
| | 比率 | 100.0% | 81.6% | 11.1% | 0.3% | 0.4% | 6.5% |

| | | 11) その他の生体検査 | | | | | 無回答 |
|-----------------------|----|--------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | |
| ① 生理検査時の聴診・触診 | 件数 | 897 | 363 | 186 | 118 | 177 | 53 |
| | 比率 | 100.0% | 40.5% | 20.7% | 13.2% | 19.7% | 5.9% |
| ② 血圧測定 | 件数 | 897 | 422 | 137 | 112 | 176 | 50 |
| | 比率 | 100.0% | 47.0% | 15.3% | 12.5% | 19.6% | 5.6% |
| ③ レーザー血流計による皮膚灌流圧の測定 | 件数 | 897 | 219 | 115 | 109 | 386 | 68 |
| | 比率 | 100.0% | 24.4% | 12.8% | 12.2% | 43.0% | 7.6% |
| ④ 神経伝導速度測定時の体温・皮膚温の測定 | 件数 | 897 | 341 | 141 | 83 | 271 | 61 |
| | 比率 | 100.0% | 38.0% | 15.7% | 9.3% | 30.2% | 6.8% |
| ⑤ 電磁波温熱療法の操作、データ管理 | 件数 | 897 | 138 | 106 | 154 | 429 | 70 |
| | 比率 | 100.0% | 15.4% | 11.8% | 17.2% | 47.8% | 7.8% |

3) 病理検査

① 病理標本作成

病理標本作成の実施状況を見ると、「病理標本の下見（スクリーニング）」、「病理組織の切り出し作業」、「摘出臓器のマクロ標本作成」のいずれも、「施設で実施していない」が約 6 割となっており、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」と併せると、3/4 以上の施設で臨床検査技師が行っていない。しかし、「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」との回答は、「病理組織の切り出し作業」で 17.7%、「摘出臓器のマクロ標本作成」13.7%となっており、当該作業を行っている施設では臨床検査技師の関与が大きい。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、いずれも「臨床検査技師の業務に入れるべき」が 3 割を超えており、「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」も約 3 割となっており、併せて 6 割を超える施設で何らかの形で臨床検査技師が行うことを肯定している。

| | | 1) 病理標本作製 | | | | | 無回答 |
|----------------|----|-----------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 病理標本の下見 | 件数 | 897 | 606 | 122 | 88 | 55 | 26 |
| | 比率 | 100.0% | 67.6% | 13.6% | 9.8% | 6.1% | 2.9% |
| ② 病理組織の切り出し作業 | 件数 | 897 | 535 | 150 | 159 | 28 | 25 |
| | 比率 | 100.0% | 59.6% | 16.7% | 17.7% | 3.1% | 2.8% |
| ③ 摘出臓器のマクロ標本作成 | 件数 | 897 | 577 | 116 | 123 | 55 | 26 |
| | 比率 | 100.0% | 64.3% | 12.9% | 13.7% | 6.1% | 2.9% |

| | | 1) 病理標本作製 | | | | | 無回答 |
|----------------|----|-----------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | |
| ① 病理標本の下見 | 件数 | 897 | 314 | 259 | 96 | 167 | 61 |
| | 比率 | 100.0% | 35.0% | 28.9% | 10.7% | 18.6% | 6.8% |
| ② 病理組織の切り出し作業 | 件数 | 897 | 272 | 305 | 110 | 155 | 55 |
| | 比率 | 100.0% | 30.3% | 34.0% | 12.3% | 17.3% | 6.1% |
| ③ 摘出臓器のマクロ標本作成 | 件数 | 897 | 305 | 280 | 78 | 175 | 59 |
| | 比率 | 100.0% | 34.0% | 31.2% | 8.7% | 19.5% | 6.6% |

② 病理解剖に関わる業務

解剖に関わる業務の実施状況を見ると、「病理解剖における切開および縫合等の行為」は、「施設で実施していない」が 63.7%で最も多いが、次いで「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」が 23.1%となっており、実施している施設では臨床検査技師の関与が大きい。

「死体からの血液採取」は、「施設で実施していない」が 71.7%と最も多く、次いで「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が 12.9%であるが、「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」も 11.7%あり、少なからず臨床検査技師が関与している。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、いずれも「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が 3 割を超えて最も多いが、施設によって回答が分かれている。

| | | 2) 解剖に関わる業務 | | | | | |
|-----------------------|----|-------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 病理解剖における切開および縫合等の行為 | 件数 | 897 | 571 | 83 | 207 | 11 | 25 |
| | 比率 | 100.0% | 63.7% | 9.3% | 23.1% | 1.2% | 2.8% |
| ② 死体からの血液採取 | 件数 | 897 | 643 | 116 | 105 | 6 | 27 |
| | 比率 | 100.0% | 71.7% | 12.9% | 11.7% | 0.7% | 3.0% |

| | | 2) 解剖に関わる業務 | | | | | |
|-----------------------|----|-------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 病理解剖における切開および縫合等の行為 | 件数 | 897 | 143 | 285 | 209 | 201 | 59 |
| | 比率 | 100.0% | 15.9% | 31.8% | 23.3% | 22.4% | 6.6% |
| ② 死体からの血液採取 | 件数 | 897 | 179 | 279 | 144 | 235 | 60 |
| | 比率 | 100.0% | 20.0% | 31.1% | 16.1% | 26.2% | 6.7% |

③ 病理診断その他

診断その他の実施状況は、「細胞診における所見記載（診断名）」は、「施設で実施していない」が 60.6%と最も多いが、次いで「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」が 22.0%となっており、実施している施設では臨床検査技師の関与が大きい。

「遠隔病理診断における画像の発信作業」は、「施設で実施していない」が 87.2%であり、ほとんどの施設で臨床検査委技師は行っていない。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、いずれも「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が 3 割前後で最も多く、また「臨床検査技師の業務に入れるべき」が「臨床検査技師の業務にすべきでない」を上回っているが、施設によって回答が分かれている。

| | | 3) 診断その他 | | | | | |
|---------------------|----|----------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 細胞診における所見記載 | 件数 | 897 | 544 | 95 | 197 | 34 | 27 |
| | 比率 | 100.0% | 60.6% | 10.6% | 22.0% | 3.8% | 3.0% |
| ② 遠隔病理診断における画像の発信作業 | 件数 | 897 | 782 | 42 | 29 | 15 | 29 |
| | 比率 | 100.0% | 87.2% | 4.7% | 3.2% | 1.7% | 3.2% |

| | | 3) 診断その他 | | | | | |
|---------------------|----|----------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 細胞診における所見記載 | 件数 | 897 | 194 | 320 | 163 | 158 | 62 |
| | 比率 | 100.0% | 21.6% | 35.7% | 18.2% | 17.6% | 6.9% |
| ② 遠隔病理診断における画像の発信作業 | 件数 | 897 | 216 | 264 | 113 | 239 | 65 |
| | 比率 | 100.0% | 24.1% | 29.4% | 12.6% | 26.6% | 7.2% |

3 その他の医行為及び医療行為に係る状況調査

検査関連業務における医行為及び医療行為に係る状況調査を実施した。

1) 診断穿刺・検体採取

① 血液採取

血液採取の実施状況を見ると、「施設で実施していない」と「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」を併せた臨床検査技師が行っていない比率では、「負荷試験における採血」、「採血後の止血行為（包帯巻き作業）」は 8 割以上、その他の「輸血のための採血（自己血採血・成分採血含む）」、「成分採血（アフエーシス）関連の業務」、「幹細胞採取における機器操作」、「血液ガス検査のための動脈採血」、「血液培養検査のための動脈採血」、「動脈ライン等からの間接的採血」、「訪問看護や患者宅での採血業務」、「スポーツジムでの採血行為」、「血清点眼薬のための採血」は 9 割以上となっており、ほとんどの施設で臨床検査技師が行っていないのが現状である。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「血液ガス検査のための動脈採血」、「血液培養検査のための動脈採血」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が 6 割以上となっており、また、「動脈ライン等からの間接的採血」でも「臨床検査技師の業務にすべきでない」が半数近くとなっており、臨床検査技師が行うことには否定的な回答が多い。

また、「輸血のための採血（自己血採血・成分採血含む）」、「成分採血（アフエーシス）関連の業務」、「幹細胞採取における機器操

作」も、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が3割を超えているが、「臨床検査技師の業務に入れるべき」も1割以上あり、施設によって回答が分かれている。

一步、「訪問看護や患者宅での採血業務」、「スポーツジムでの採血行為」、「負荷試験における採血」、「血清点眼薬のための採血」、「採血後の止血行為（包帯巻き作業）」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が最も多くなっているが、施設によって回答が分かれている。

| | | 1) 血液採取 | | | | | 無回答 |
|------------------|----|---------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 輸血のための採血 | 件数 | 897 | 355 | 486 | 28 | 14 | 14 |
| | 比率 | 100.0% | 39.6% | 54.2% | 3.1% | 1.6% | 1.6% |
| ② 成分採血関連の業務 | 件数 | 897 | 737 | 115 | 19 | 4 | 22 |
| | 比率 | 100.0% | 82.2% | 12.8% | 2.1% | 0.4% | 2.5% |
| ③ 幹細胞採取における機器操作 | 件数 | 897 | 739 | 114 | 18 | 3 | 23 |
| | 比率 | 100.0% | 82.4% | 12.7% | 2.0% | 0.3% | 2.6% |
| ④ 血液ガス検査のための動脈採血 | 件数 | 897 | 228 | 652 | 1 | - | 16 |
| | 比率 | 100.0% | 25.4% | 72.7% | 0.1% | - | 1.8% |
| ⑤ 血液培養検査のための動脈採血 | 件数 | 897 | 237 | 641 | 1 | - | 18 |
| | 比率 | 100.0% | 26.4% | 71.5% | 0.1% | - | 2.0% |
| ⑥ 動脈ライン等からの間接的採血 | 件数 | 897 | 263 | 603 | 5 | 1 | 25 |
| | 比率 | 100.0% | 29.3% | 67.2% | 0.6% | 0.1% | 2.8% |
| ⑦ 訪問看護や患者宅での採血業務 | 件数 | 897 | 396 | 471 | 2 | 3 | 25 |
| | 比率 | 100.0% | 44.1% | 52.5% | 0.2% | 0.3% | 2.8% |
| ⑧ スポーツジムでの採血行為 | 件数 | 897 | 803 | 63 | 1 | 2 | 28 |
| | 比率 | 100.0% | 89.5% | 7.0% | 0.1% | 0.2% | 3.1% |
| ⑨ 負荷試験における採血 | 件数 | 897 | 323 | 422 | 70 | 59 | 23 |
| | 比率 | 100.0% | 36.0% | 47.0% | 7.8% | 6.6% | 2.6% |
| ⑩ 血清点眼薬のための採血 | 件数 | 897 | 632 | 192 | 13 | 18 | 42 |
| | 比率 | 100.0% | 70.5% | 21.4% | 1.4% | 2.0% | 4.7% |
| ⑪ 採血後の止血行為 | 件数 | 897 | 290 | 502 | 36 | 38 | 31 |
| | 比率 | 100.0% | 32.3% | 56.0% | 4.0% | 4.2% | 3.5% |

| | | 1) 血液採取 | | | | 無回答 | |
|------------------|----|---------|-----------------|--------------------|------------------|-------|-------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | | わからない |
| ① 輸血のための採血 | 件数 | 897 | 167 | 201 | 323 | 170 | 36 |
| | 比率 | 100.0% | 18.6% | 22.4% | 36.0% | 19.0% | 4.0% |
| ② 成分採血関連の業務 | 件数 | 897 | 110 | 169 | 301 | 273 | 44 |
| | 比率 | 100.0% | 12.3% | 18.8% | 33.6% | 30.4% | 4.9% |
| ③ 幹細胞採取における機器操作 | 件数 | 897 | 94 | 198 | 271 | 290 | 44 |
| | 比率 | 100.0% | 10.5% | 22.1% | 30.2% | 32.3% | 4.9% |
| ④ 血液ガス検査のための動脈採血 | 件数 | 897 | 57 | 98 | 555 | 151 | 36 |
| | 比率 | 100.0% | 6.4% | 10.9% | 61.9% | 16.8% | 4.0% |
| ⑤ 血液培養検査のための動脈採血 | 件数 | 897 | 57 | 99 | 548 | 154 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 6.4% | 11.0% | 61.1% | 17.2% | 4.3% |
| ⑥ 動脈ライン等からの間接的採血 | 件数 | 897 | 103 | 161 | 427 | 166 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 11.5% | 17.9% | 47.6% | 18.5% | 4.5% |
| ⑦ 訪問看護や患者宅での採血業務 | 件数 | 897 | 267 | 191 | 210 | 184 | 45 |
| | 比率 | 100.0% | 29.8% | 21.3% | 23.4% | 20.5% | 5.0% |
| ⑧ スポーツジムでの採血行為 | 件数 | 897 | 278 | 159 | 192 | 220 | 48 |
| | 比率 | 100.0% | 31.0% | 17.7% | 21.4% | 24.5% | 5.4% |
| ⑨ 負荷試験における採血 | 件数 | 897 | 330 | 240 | 131 | 153 | 43 |
| | 比率 | 100.0% | 36.8% | 26.8% | 14.6% | 17.1% | 4.8% |
| ⑩ 血清点眼薬のための採血 | 件数 | 897 | 204 | 143 | 191 | 305 | 54 |
| | 比率 | 100.0% | 22.7% | 15.9% | 21.3% | 34.0% | 6.0% |
| ⑪ 採血後の止血行為 | 件数 | 897 | 310 | 154 | 170 | 217 | 46 |
| | 比率 | 100.0% | 34.6% | 17.2% | 19.0% | 24.2% | 5.1% |

② その他検体採取

その他検体採取の実施状況は、「細菌検査における喀痰の採取（吸引痰を含む）」、「細菌検査における表皮組織の採取」、「直接肛門からのスワブ（綿棒）による便の採取」は、9割以上の施設で臨床検査技師が行っていない。また、「インフルエンザ検査等における鼻腔粘液および咽頭粘液の採取」も約85%の施設で臨床検査技師が行っていない。

一方、「尿素呼気試験における呼気の採取」は、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が34.8%で最も多いが、次いで「臨床検査技師のみで実施している」が28.3%であり、臨床検査技師が行っている施設が少なくない。臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「尿素呼気試験における呼気の採取」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が54.1%と過半数を超えており、臨床検査技師が行うことに肯定的な回答が多い。

また、「細菌検査における表皮組織の採取」、「インフルエンザ検査等における鼻腔粘液および咽頭粘液の採取」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が最も多くなっているが、他の回答も少なからずあり施設によって回答が分かれている。

反対に、「細菌検査における喀痰の採取（吸引痰を含む）」、「直接肛門からのスワブ（綿棒）による便の採取」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が3割以上と最も多いが、やはり施設により回答が分かれている。

| | | 2) その他検体採取 | | | | | 無回答 |
|--------------------------------|----|------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 細菌検査における喀痰の採取 | 件数 | 897 | 207 | 667 | 5 | 1 | 17 |
| | 比率 | 100.0% | 23.1% | 74.4% | 0.6% | 0.1% | 1.9% |
| ② 細菌検査における表皮組織の採取 | 件数 | 897 | 215 | 608 | 39 | 18 | 17 |
| | 比率 | 100.0% | 24.0% | 67.8% | 4.3% | 2.0% | 1.9% |
| ③ インフルエンザ検査等における鼻腔粘液および咽頭粘液の採取 | 件数 | 897 | 172 | 589 | 62 | 56 | 18 |
| | 比率 | 100.0% | 19.2% | 65.7% | 6.9% | 6.2% | 2.0% |
| ④ 尿素呼気試験における呼気の採取 | 件数 | 897 | 226 | 312 | 83 | 254 | 22 |
| | 比率 | 100.0% | 25.2% | 34.8% | 9.3% | 28.3% | 2.5% |
| ⑤ 直接肛門からのスワブによる便の採取 | 件数 | 897 | 223 | 634 | 8 | 10 | 22 |
| | 比率 | 100.0% | 24.9% | 70.7% | 0.9% | 1.1% | 2.5% |

| | | 2) その他検体採取 | | | | | 無回答 |
|--------------------------------|----|------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | |
| ① 細菌検査における喀痰の採取 | 件数 | 897 | 230 | 162 | 290 | 175 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 25.6% | 18.1% | 32.3% | 19.5% | 4.5% |
| ② 細菌検査における表皮組織の採取 | 件数 | 897 | 262 | 195 | 250 | 151 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 29.2% | 21.7% | 27.9% | 16.8% | 4.3% |
| ③ インフルエンザ検査等における鼻腔粘液および咽頭粘液の採取 | 件数 | 897 | 334 | 190 | 198 | 136 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 37.2% | 21.2% | 22.1% | 15.2% | 4.3% |
| ④ 尿素呼気試験における呼気の採取 | 件数 | 897 | 485 | 163 | 97 | 112 | 40 |
| | 比率 | 100.0% | 54.1% | 18.2% | 10.8% | 12.5% | 4.5% |
| ⑤ 直接肛門からのスワブによる便の採取 | 件数 | 897 | 209 | 140 | 298 | 207 | 43 |
| | 比率 | 100.0% | 23.3% | 15.6% | 33.2% | 23.1% | 4.8% |

2) 薬剤

① 薬剤投与

薬剤投与の実施状況を見ると、「超音波負荷検査でのドパミン・ATP等の投与」、「眼底検査における散瞳薬の点眼」、「経食道超音波検査における咽頭麻酔の実施」、「胃カメラ等の内視鏡における咽頭麻酔の実施」、「負荷心筋シンチ検査における放射性薬剤（タリウム）の投与」は、臨床検査技師が行っていない施設が9割以上となっている。

また、「脳波・心電図検査でのトリクロロル等の睡眠剤の投与」も、臨床検査技師が行っていない施設が86.5%である。

一方、「糖負荷検査における75gブドウ糖の投与」、「尿素負荷試験における尿素錠剤の投与」も、臨床検査技師が行っていない施設が7割以上であるが、「臨床検査技師のみで実施している」も1割以上となっている。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「超音波負荷検査でのドパミン・ATP等の投与」、「経食道超音波検査における咽頭麻酔の実施」、「胃カメラ等の内視鏡における咽頭麻酔の実施」、「負荷心筋シンチ検査における放射性薬剤（タリウム）の投与」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が4割以上で最も多く、臨床検査技師が行うことについて否定的な回答が多い。

また、「脳波・心電図検査でのトリクロロル等の睡眠剤の投与」、「眼底検査における散瞳薬の点眼」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が最も多く、反対に、「糖負荷検査における75gブドウ糖の投与」、「尿素負荷試験における尿素錠剤の投与」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が3割以上と最も多くなっているが、いずれにせよ施設により回答が分かれている。

| | | 1) 薬剤投与 | | | | | 無回答 |
|----------------------------|----|---------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | |
| ① 超音波負荷検査でのドパミン・ATP等の投与 | 件数 | 897 | 614 | 220 | 11 | 3 | 49 |
| | 比率 | 100.0% | 68.5% | 24.5% | 1.2% | 0.3% | 5.5% |
| ② 脳波・心電図検査でのトリクロロル等の睡眠剤の投与 | 件数 | 897 | 467 | 309 | 66 | 23 | 32 |
| | 比率 | 100.0% | 52.1% | 34.4% | 7.4% | 2.6% | 3.6% |
| ③ 糖負荷検査における75gブドウ糖の投与 | 件数 | 897 | 178 | 517 | 76 | 94 | 32 |
| | 比率 | 100.0% | 19.8% | 57.6% | 8.5% | 10.5% | 3.6% |
| ④ 尿素負荷試験における尿素錠剤の投与 | 件数 | 897 | 355 | 292 | 61 | 136 | 53 |
| | 比率 | 100.0% | 39.6% | 32.6% | 6.8% | 15.2% | 5.9% |
| ⑤ 眼底検査における散瞳薬の点眼 | 件数 | 897 | 416 | 420 | 16 | 9 | 36 |
| | 比率 | 100.0% | 46.4% | 46.8% | 1.8% | 1.0% | 4.0% |
| ⑥ 経食道超音波検査における咽頭麻酔の実施 | 件数 | 897 | 459 | 350 | 39 | 14 | 35 |
| | 比率 | 100.0% | 51.2% | 39.0% | 4.3% | 1.6% | 3.9% |
| ⑦ 胃カメラ等の内視鏡における咽頭麻酔の実施 | 件数 | 897 | 222 | 616 | 14 | 7 | 38 |
| | 比率 | 100.0% | 24.7% | 68.7% | 1.6% | 0.8% | 4.2% |
| ⑧ 負荷心筋シンチ検査における放射性薬剤の投与 | 件数 | 897 | 591 | 261 | 2 | 2 | 41 |
| | 比率 | 100.0% | 65.9% | 29.1% | 0.2% | 0.2% | 4.6% |

| | | 1) 薬剤投与 | | | | | |
|-----------------------------|----|---------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 超音波負荷検査でのドパミン・ATP等の投与 | 件数 | 897 | 44 | 140 | 409 | 236 | 68 |
| | 比率 | 100.0% | 4.9% | 15.6% | 45.6% | 26.3% | 7.6% |
| ② 脳波・心電図検査でのトリクロロール等の睡眠剤の投与 | 件数 | 897 | 98 | 241 | 326 | 176 | 56 |
| | 比率 | 100.0% | 10.9% | 26.9% | 36.3% | 19.6% | 6.2% |
| ③ 糖負荷検査における75gブドウ糖の投与 | 件数 | 897 | 282 | 250 | 188 | 127 | 50 |
| | 比率 | 100.0% | 31.4% | 27.9% | 21.0% | 14.2% | 5.6% |
| ④ 尿素負荷試験における尿素錠剤の投与 | 件数 | 897 | 270 | 201 | 190 | 175 | 61 |
| | 比率 | 100.0% | 30.1% | 22.4% | 21.2% | 19.5% | 6.8% |
| ⑤ 眼底検査における散瞳薬の点眼 | 件数 | 897 | 187 | 207 | 252 | 195 | 56 |
| | 比率 | 100.0% | 20.8% | 23.1% | 28.1% | 21.7% | 6.2% |
| ⑥ 経食道超音波検査における咽頭麻酔の実施 | 件数 | 897 | 89 | 165 | 376 | 203 | 64 |
| | 比率 | 100.0% | 9.9% | 18.4% | 41.9% | 22.6% | 7.1% |
| ⑦ 胃カメラ等の内視鏡における咽頭麻酔の実施 | 件数 | 897 | 78 | 161 | 394 | 204 | 60 |
| | 比率 | 100.0% | 8.7% | 17.9% | 43.9% | 22.7% | 6.7% |
| ⑧ 負荷心筋シンチ検査における放射性薬剤の投与 | 件数 | 897 | 30 | 92 | 418 | 293 | 64 |
| | 比率 | 100.0% | 3.3% | 10.3% | 46.6% | 32.7% | 7.1% |

3) 手術および侵襲的検査

① 手術室やカテーテル室における機器操作

手術室やカテーテル室における機器操作の実施状況は、「経皮的ラジオ波焼灼法（RFA）の準備・操作」、「手術室・カテーテル室等で医療機器の操作」、「圧ラインの接続」、「補助人工心臓（IABP）の機器操作」は、臨床検査技師が行っていない施設が8割以上となっている。

「ポリグラフによる心電図及び圧記録」も78.5%の施設で臨床検査技師が行っていないが、「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」が10.3%であり、臨床検査技師が関与している施設が少なからずある。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「経皮的ラジオ波焼灼法（RFA）の準備・操作」、「手術室・カテーテル室等で医療機器の操作」、「圧ラインの接続」、「補助人工心臓（IABP）の機器操作」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が3割を超え最も多くなっており、臨床検査技師が行うことに否定的な回答が多い。

一方、「ポリグラフによる心電図及び圧記録」は、「わからない」の26.0%に続いて、「医師の指導下で臨床検査技師が行うべき」が25.1%、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が25.0%となっており、何らかの形で臨床検査技師が行うことは過半数の施設が肯定している。しかし、「臨床検査技師の業務にすべきでない」も17.4%と少なからずある。

| | | 1) 手術室やカテーテル室における機器操作 | | | | | |
|-----------------------|----|-----------------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 経皮的ラジオ波焼灼法の準備・操作 | 件数 | 897 | 460 | 347 | 39 | 3 | 48 |
| | 比率 | 100.0% | 51.3% | 38.7% | 4.3% | 0.3% | 5.4% |
| ② 手術室・カテーテル室等で医療機器の操作 | 件数 | 897 | 354 | 405 | 87 | 8 | 43 |
| | 比率 | 100.0% | 39.5% | 45.2% | 9.7% | 0.9% | 4.8% |
| ③ 圧ラインの接続 | 件数 | 897 | 362 | 396 | 72 | 24 | 43 |
| | 比率 | 100.0% | 40.4% | 44.1% | 8.0% | 2.7% | 4.8% |
| ④ ポリグラフによる心電図及び圧記録 | 件数 | 897 | 433 | 271 | 92 | 55 | 46 |
| | 比率 | 100.0% | 48.3% | 30.2% | 10.3% | 6.1% | 5.1% |
| ⑤ 補助人工心臓の機器操作 | 件数 | 897 | 545 | 254 | 47 | 7 | 44 |
| | 比率 | 100.0% | 60.8% | 28.3% | 5.2% | 0.8% | 4.9% |

| | | 1) 手術室やカテーテル室における機器操作 | | | | | |
|-----------------------|----|-----------------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 経皮的ラジオ波焼灼法の準備・操作 | 件数 | 897 | 84 | 166 | 303 | 283 | 61 |
| | 比率 | 100.0% | 9.4% | 18.5% | 33.8% | 31.5% | 6.8% |
| ② 手術室・カテーテル室等で医療機器の操作 | 件数 | 897 | 95 | 218 | 275 | 255 | 54 |
| | 比率 | 100.0% | 10.6% | 24.3% | 30.7% | 28.4% | 6.0% |
| ③ 圧ラインの接続 | 件数 | 897 | 105 | 177 | 283 | 274 | 58 |
| | 比率 | 100.0% | 11.7% | 19.7% | 31.5% | 30.5% | 6.5% |
| ④ ポリグラフによる心電図及び圧記録 | 件数 | 897 | 224 | 225 | 156 | 233 | 59 |
| | 比率 | 100.0% | 25.0% | 25.1% | 17.4% | 26.0% | 6.6% |
| ⑤ 補助人工心臓の機器操作 | 件数 | 897 | 61 | 130 | 348 | 300 | 58 |
| | 比率 | 100.0% | 6.8% | 14.5% | 38.8% | 33.4% | 6.5% |

4) 輸血に関わる諸事項

輸血に関わる諸事項の実施状況を見ると、「輸血同意書の説明」、「血液型に関する説明」、「不規則抗体に関する説明」とともに、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が7割強となっており、また、「施設で実施していない」も2割を超えており、ほとんどの施設で臨床検査技師が行っていない。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「輸血同意書の説明」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が 42.7%と半数近くになっているが、「臨床検査技師の業務に入れるべき」との回答も 21.5%であり、施設によって回答が分かれている。

反対に、「血液型に関する説明」、「不規則抗体に関する説明」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」が 1/3 以上で最も多いが、「臨床検査技師の業務にすべきでない」も 2 割以上であり、やはり施設により回答が分かれている。

| | | 2) 輸血に関わる諸事項 | | | | | |
|---------------|----|--------------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 輸血同意書の説明 | 件数 | 897 | 198 | 675 | 4 | 1 | 19 |
| | 比率 | 100.0% | 22.1% | 75.3% | 0.4% | 0.1% | 2.1% |
| ② 血液型に関する説明 | 件数 | 897 | 207 | 652 | 10 | 7 | 21 |
| | 比率 | 100.0% | 23.1% | 72.7% | 1.1% | 0.8% | 2.3% |
| ③ 不規則抗体に関する説明 | 件数 | 897 | 216 | 642 | 10 | 8 | 21 |
| | 比率 | 100.0% | 24.1% | 71.6% | 1.1% | 0.9% | 2.3% |

| | | 2) 輸血に関わる諸事項 | | | | | |
|---------------|----|--------------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 輸血同意書の説明 | 件数 | 897 | 193 | 153 | 383 | 129 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 21.5% | 17.1% | 42.7% | 14.4% | 4.3% |
| ② 血液型に関する説明 | 件数 | 897 | 307 | 222 | 201 | 129 | 38 |
| | 比率 | 100.0% | 34.2% | 24.7% | 22.4% | 14.4% | 4.2% |
| ③ 不規則抗体に関する説明 | 件数 | 897 | 311 | 225 | 194 | 129 | 38 |
| | 比率 | 100.0% | 34.7% | 25.1% | 21.6% | 14.4% | 4.2% |

5) その他の医療行為

① 検査の説明

検査の説明の実施状況をみると、「生体検査の事前説明」は、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が 48.3%と半数近いが、「臨床検査技師のみで実施している」が 15.9%、「医師の指導下で臨床検査技師が実施している」が 14.7%となっており、臨床検査技師が関与している施設は 3 割以上となっている。

「検体検査の事前説明」、「生体検査の結果説明」、「検体検査の結果説明」は、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が 6 割以上となっており、臨床検査技師の関与は少ない。

「自己血糖測定装置の操作説明」は、「施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない」が 54.3%と過半数であるが、「臨床検査技師のみで実施している」も 12.9%と少なからずある。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、「生体検査の事前説明」、「検体検査の事前説明」、「自己血糖測定装置の操作説明」は、「臨床検査技師の業務に入れるべき」との回答がほぼ半数となっており、臨床検査技師が行うことに肯定的な回答が多い。

「生体検査の結果説明」、「検体検査の結果説明」は、「臨床検査技師の業務にすべきでない」が 3 割を超え最も多いが、「臨床検査技師の業務に入れるべき」も 2 割を超えており、施設により回答が分かれている。

| | | 1) 検査の説明 | | | | | |
|-----------------|----|----------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① 生体検査の事前説明 | 件数 | 897 | 163 | 433 | 132 | 143 | 26 |
| | 比率 | 100.0% | 18.2% | 48.3% | 14.7% | 15.9% | 2.9% |
| ② 検体検査の事前説明 | 件数 | 897 | 203 | 561 | 65 | 42 | 26 |
| | 比率 | 100.0% | 22.6% | 62.5% | 7.2% | 4.7% | 2.9% |
| ③ 生体検査の結果説明 | 件数 | 897 | 222 | 616 | 27 | 5 | 27 |
| | 比率 | 100.0% | 24.7% | 68.7% | 3.0% | 0.6% | 3.0% |
| ④ 検体検査の結果説明 | 件数 | 897 | 223 | 619 | 23 | 6 | 26 |
| | 比率 | 100.0% | 24.9% | 69.0% | 2.6% | 0.7% | 2.9% |
| ⑤ 自己血糖測定装置の操作説明 | 件数 | 897 | 187 | 487 | 84 | 116 | 23 |
| | 比率 | 100.0% | 20.8% | 54.3% | 9.4% | 12.9% | 2.6% |

| | | 1) 検査の説明 | | | | | |
|-----------------|----|----------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① 生体検査の事前説明 | 件数 | 897 | 465 | 207 | 89 | 89 | 47 |
| | 比率 | 100.0% | 51.8% | 23.1% | 9.9% | 9.9% | 5.2% |
| ② 検体検査の事前説明 | 件数 | 897 | 448 | 199 | 96 | 109 | 45 |
| | 比率 | 100.0% | 49.9% | 22.2% | 10.7% | 12.2% | 5.0% |
| ③ 生体検査の結果説明 | 件数 | 897 | 208 | 198 | 316 | 130 | 45 |
| | 比率 | 100.0% | 23.2% | 22.1% | 35.2% | 14.5% | 5.0% |
| ④ 検体検査の結果説明 | 件数 | 897 | 215 | 225 | 287 | 128 | 42 |
| | 比率 | 100.0% | 24.0% | 25.1% | 32.0% | 14.3% | 4.7% |
| ⑤ 自己血糖測定装置の操作説明 | 件数 | 897 | 478 | 180 | 86 | 114 | 39 |
| | 比率 | 100.0% | 53.3% | 20.1% | 9.6% | 12.7% | 4.3% |

② その他

「NSTで身体計測（上腕周囲長・上腕脂肪厚・膝高等）」、「薬物濃度測定とトラフ値の算出」ともに、ほとんどの施設で臨床検査技師は行っていない。

臨床検査技師がすべき行為かどうかについては、いずれも「臨床検査技師の業務に入れるべき」が3割を超えているが、「わからない」との回答も多く、また、「臨床検査技師の業務にすべきでない」も約15%となっており、施設によって回答が分かれている。

| | | 2) その他 | | | | | |
|------------------|----|--------|------------|--------------------------|----------------------|-----------------|------|
| | | 合計 | 施設で実施していない | 施設で実施しているが臨床検査技師は関与していない | 医師の指導下で臨床検査技師が実施している | 臨床検査技師のみで実施している | 無回答 |
| ① NSTで身体計測 | 件数 | 897 | 328 | 481 | 21 | 19 | 48 |
| | 比率 | 100.0% | 36.6% | 53.6% | 2.3% | 2.1% | 5.4% |
| ② 薬物濃度測定とトラフ値の算出 | 件数 | 897 | 435 | 333 | 34 | 31 | 64 |
| | 比率 | 100.0% | 48.5% | 37.1% | 3.8% | 3.5% | 7.1% |

| | | 2) その他 | | | | | |
|------------------|----|--------|-----------------|--------------------|------------------|-------|------|
| | | 合計 | 臨床検査技師の業務に入れるべき | 医師の指導下で臨床検査技師が行うべき | 臨床検査技師の業務にすべきでない | わからない | 無回答 |
| ① NSTで身体計測 | 件数 | 897 | 320 | 126 | 133 | 245 | 73 |
| | 比率 | 100.0% | 35.7% | 14.0% | 14.8% | 27.3% | 8.1% |
| ② 薬物濃度測定とトラフ値の算出 | 件数 | 897 | 276 | 134 | 126 | 284 | 77 |
| | 比率 | 100.0% | 30.8% | 14.9% | 14.0% | 31.7% | 8.6% |

<了>